



# 2022年度決算説明会

---

'23年3月期 決算 / '24年3月期 業績予想

愛三工業株式会社  
2023年 4月 26日

# アジェンダ

## 01 2023年3月期 連結業績の概要

## 02 2024年3月期 連結業績予想、配当予想

### 【将来見通しに関する記載についての注意】

- 本資料には業績予想および会社方針・計画等を記載しております。それらにつきましては、各資料の作成時点において当社を取り巻く経営環境や、会社方針などの一定の前提にもとづいて作成しております。したがって、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なる結果となりうることをご承知お願います。
- 実際の業績に影響を与えるリスクには、自動車市場の変動、為替レートの変動、原材料・部品の価格、法規制および災害・感染症による影響などを含みます。なお、業績に影響を与える要素は、これらに限定されるものではありません。

01

## 2023年3月期 連結業績の概要

- 決算のポイント
- 連結業績
- 連結営業利益の増減要因
- 所在地別業績

# 2023年3月期 連結業績の概要

## 決算のポイント



### 主要顧客 動向

- 顧客の車両生産は、前期比では増加したものの、主として半導体などの部品供給問題により、不安定な状況が継続



### 売上高 営業利益

- 連結売上高は **2,408億円** (前期比 470億円増収, 24.3%増)
- ※ 燃料ホップモジュール譲受分 145億円
- 連結営業利益は **136億円** (前期比 38億円増益, 39.0%増)



### 収益改善

- **グループ全体で55億円の収益改善を達成**
  - 材料費、物流費、エネルギー費の各種費用高騰に対して、影響を最小限に留める販売・購入・生産面での努力
  - MMK(もっとものづくり強化)活動による原価改善努力の結実
  - コロナ禍で小さくした構え(組織、固定費)の維持

# 2023年3月期 連結業績の概要

## 連結業績

★過去最高 [単位：億円]

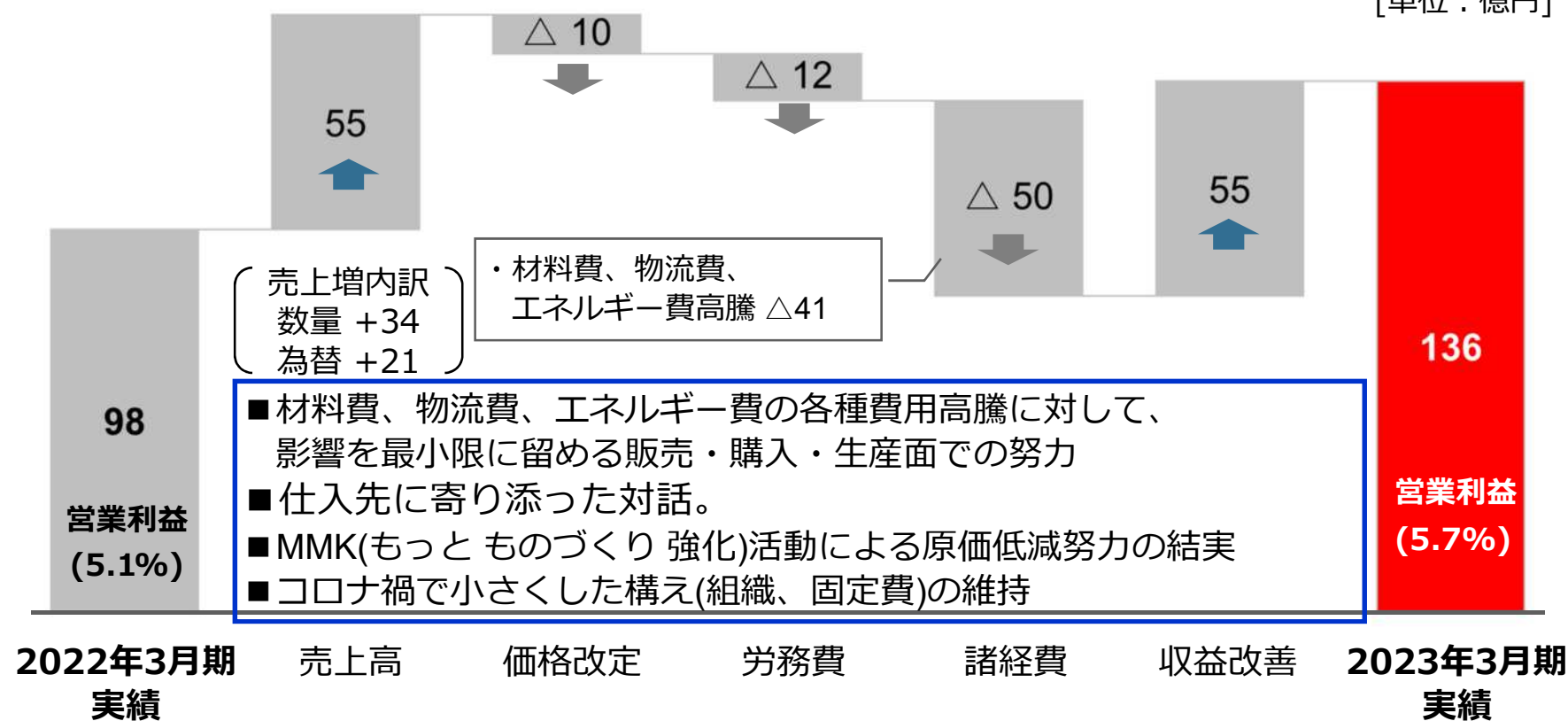
	2023年3月期		2022年3月期		前期比		公表		
	実績	比率	実績	比率	増減額	増減率	公表値	実績差 (額)	実績差 (率)
売上高 ★	2,408.0	100.0%	1,937.5	100.0%	+470.5	+24.3%	2,350.0	+58.0	+2.5%
営業利益	★136.3	5.7%	98.0	5.1%	+38.2	+39.0%	135.0	+1.3	+1.0%
経常利益	★140.8	5.8%	102.5	5.3%	+38.2	+37.3%	140.0	+0.8	+0.6%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	★85.0	3.5%	68.3	3.5%	+16.7	+24.5%	85.0	+0.0	+0.0%
設備投資	86.3	-	94.4	-	△8.1	△8.6%	110.0	▲23.7	▲21.5%
研究開発費	111.1	4.6%	104.9	5.4%	+6.2	+5.9%	110.0	+1.1	+1.0%
為替レート (ドル)	135円	-	112円	-	+23円	(円安)	134円	1円	(円安)
ROE	8.4%	-	7.5%	-	+0.9pt	-	8.5%	▲0.1pt	-

# 2023年3月期 連結業績の概要

## 連結営業利益の増減要因

材料費、物流費、エネルギー費が高騰したが、売上増と収益改善・合理化努力により増益

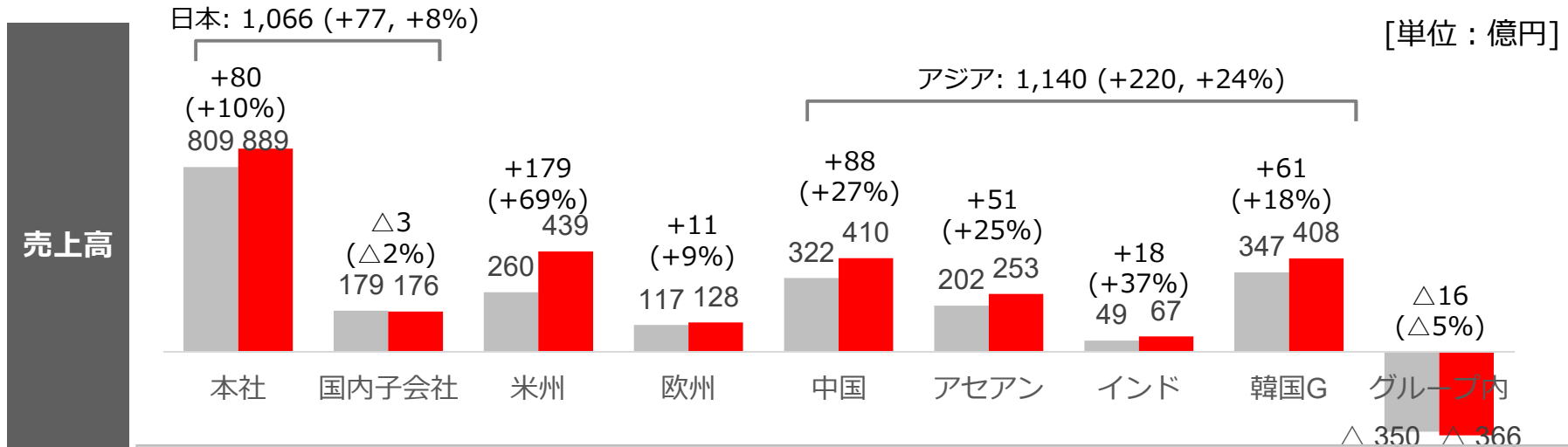
[単位：億円]



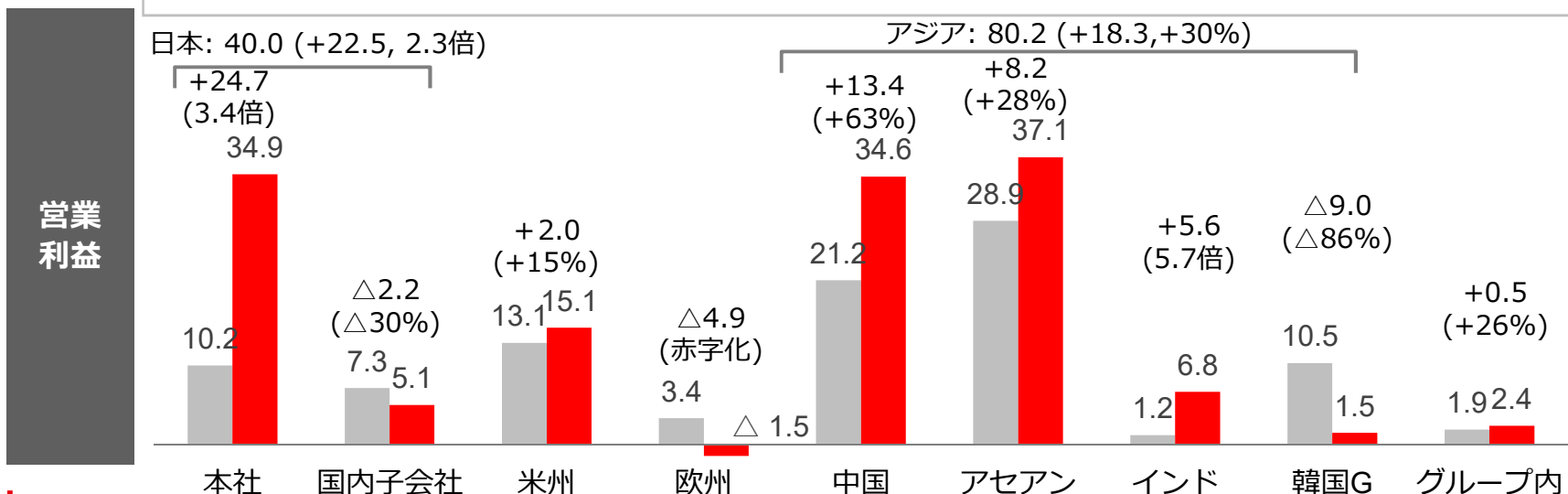
# 2023年3月期 連結業績の概要

## 所在地別業績

燃料コスト増の影響を緩和する販売数量の増と為替影響（円安）により、各地域とも増収。



材料費等の高騰影響が大きいですが、日本、米州、中国、アセアン、インド地域で高騰分をカバーする収益改善で増益。一方、欧州、韓国Gは高騰分を収益改善でカバーできず減益。



## 2024年3月期 連結業績予想、配当予想

- 連結業績予想のポイント
- 連結業績予想
- 連結営業利益の増減要因
- 設備投資と減価償却費、研究開発費
- 株主還元方針

# 2024年3月期 連結業績予想の概要

## 連結業績予想のポイント



### 主要顧客 動向

- 半導体供給などの不透明要素は依然残るものの、顧客車両生産台数の増加を見込む。



### 売上高 営業利益

- 連結売上高は **2,800億円** ※(前期比 391億円増収, 16.3%増)  
※ 燃料ホップモジュール譲受分 600億円
- 連結営業利益は **140億円** (前期比 3億円増益, 2.7%増)



### 収益改善

- **グループ全体で55億円の収益改善を達成**
  - 材料費、物流費、エネルギー費の各種費用高騰に対して、影響を最小限に留める販売・購入・生産面での努力
  - 高騰する労務費に対応するため、改めて1人工・1秒に拘った生産性向上を目指す。
  - 将来事業を見据えた設備&研究開発投資は積極的に投入

# 2024年3月期 連結業績予想、配当予想

## 連結業績予想

[単位：億円]

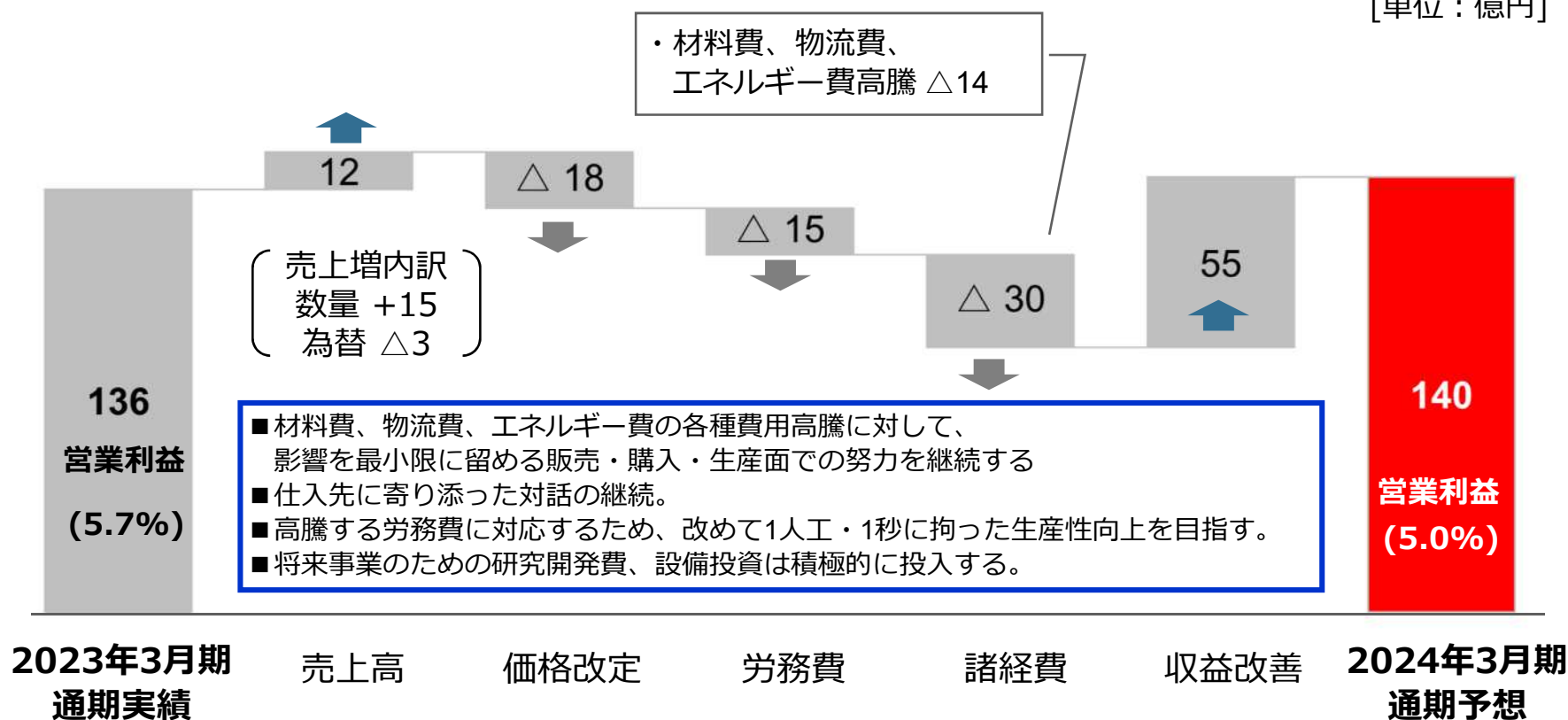
	2024年3月期 予想		2023年3月期 実績		前期比	
	予想	比率	実績	比率	増減額	増減率
売上高	2,800.0	100.0%	2,408.0	100.0%	+391.9	+16.3%
営業利益	140.0	5.0%	136.3	5.7%	+3.6	+2.7%
経常利益	140.0	5.0%	140.8	5.8%	△0.8	△0.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	87.0	3.1%	85.0	3.5%	+1.9	+2.3%
設備投資	130.0	-	86.4	-	+43.6	+50.1%
研究開発費	125.0	4.5%	111.1	4.6%	+13.9	+12.5%
為替レート (ドル)	130円	-	135円	-	5円	(円高)
ROE	8.0%	-	8.4%	-	▲0.4pt	-

# 2024年3月期 連結業績予想、配当予想

## 連結営業利益の増減要因

23年は販売台数の増加による増益効果がある一方、燃料ポンプモジュールの譲受事業は、生産委託期間で、自前化による本格的な収益寄与は25年度以降。当面は既存事業の競争力の強化により安定的な収益基盤(営業利益率5%程度)を構築する。

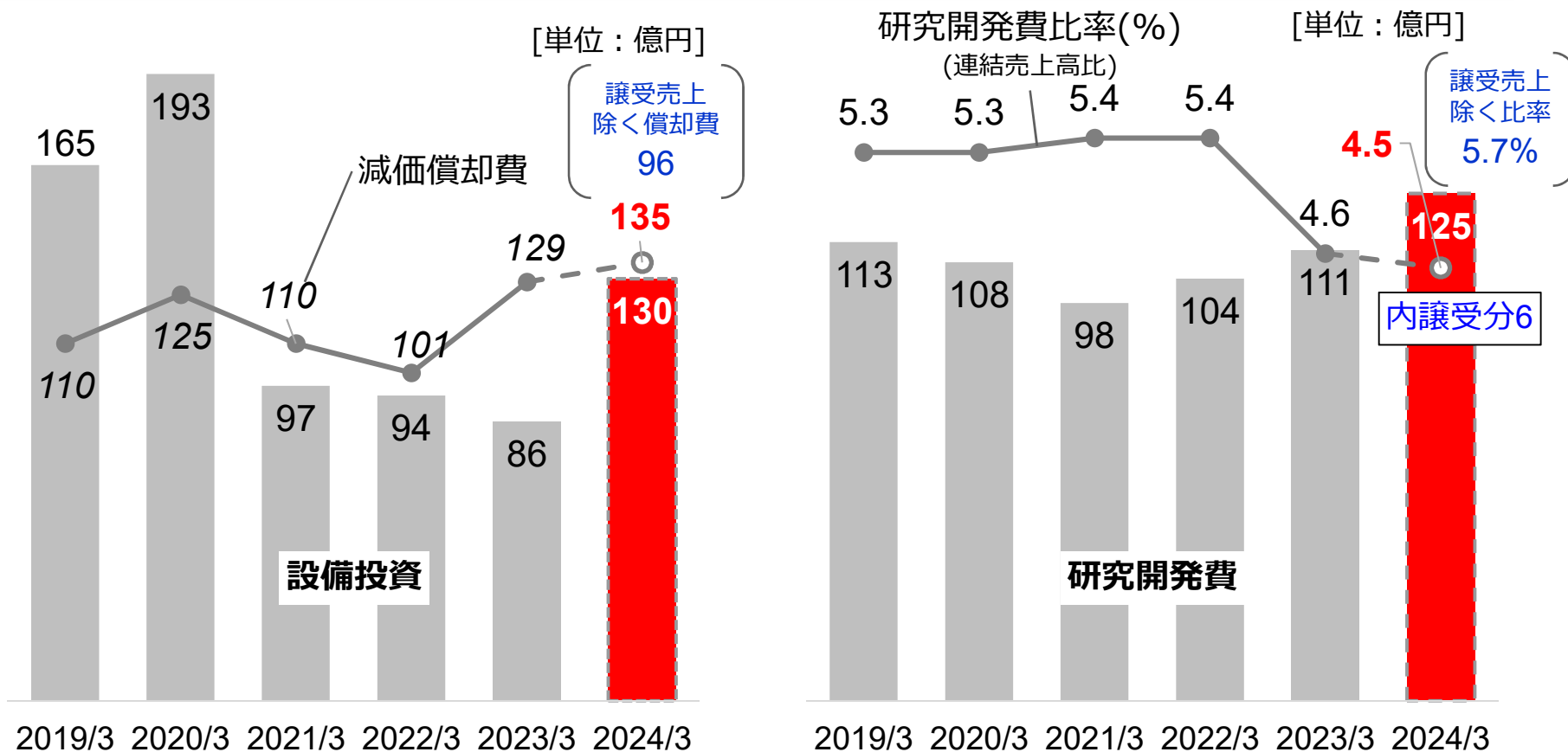
[単位：億円]



# 2024年3月期 連結業績予想、配当予想

## 設備投資と減価償却費、研究開発費

設備投資、研究開発とも、新分野/将来製品事業への重点的な配分



# 2024年3月期 連結業績予想、配当予想

## 株主還元方針

将来の成長投資と財務健全性を考慮したうえで、中計期間で**配当性向平均30%以上**、併せて**機動的な自己株式取得**を実施してまいります。  
これらにより、株主の皆様のご期待に応えるとともに、財務・資本の観点からも企業価値の向上に努めてまいります。

